

# ハロー インフォメーション

2019年6月

156号

NTT東日本からのお知らせ

NTT東日本ホームページ  
<https://www.ntt-east.co.jp/>



# ユニバーサルサービス料の変更について

NTT東日本では、110番や119番などの緊急通報、公衆電話、山間部や離島を含む地域における固定電話通信などのユニバーサルサービスを、いつでも、どこでも、誰もが利用可能な料金でお客さまにご利用いただけるように、通信網の維持・保守に取り組んでいます。

このユニバーサルサービスを維持するために、2007年1月より各電話会社が「ユニバーサルサービス支援機関」\*を通じて費用を出し合う「ユニバーサルサービス基金制度」がスタートし、2019年1月からは、お客さまに、1電話番号当たり月額2円(税抜)のご負担をいただいております。

今般、ユニバーサルサービス支援機関が定める各電話会社の1電話番号当たりの負担額(番号単価)は、2019年7月より月額2円から3円に見直されることとなりました。これにともないまして、現在お客さまにご負担をいただいている「ユニバーサルサービス料」についても、1電話番号当たり月額3円(税抜)に変更させていただきます。

NTT東日本は、基金制度の下で、今後もユニバーサルサービスの維持につとめてまいります。皆さまのご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

\*一般社団法人電気通信事業者協会が総務大臣より指定されています。

## ①料金額

[1電話番号当たり月額]

	現 行	変更後
ユニバーサルサービス料	2円(税抜)	3円(税抜)

- ・ユニバーサルサービス料は、ユニバーサルサービス支援機関が定める番号単価と同額です。
- ・適用する電話番号は、加入電話サービスなどの契約者回線に係る電話番号および付加サービスに係る電話番号です。

## ②実施時期

2019年7月1日(月)

## ③その他

ユニバーサルサービス支援機関が定める番号単価については、一般社団法人電気通信事業者協会のホームページ(<https://www.tca.or.jp/universalservice/>)において公表されています。

ユニバーサルサービスに関するくわしい情報はこちら

<https://www.ntt-east.co.jp/univs/>

## (参考)ユニバーサルサービスコストの負担について

NTT東日本・NTT西日本のユニバーサルサービスの赤字 ▲535億円  
(うち、NTT東日本▲271億円)

NTT東日本・NTT西日本の負担 470億円

基金からの支援 65億円

毎月の電話番号利用数に応じて、1電話番号当たり  
2019年1月～6月は2円、2019年7月以降は3円を拠出

お客さまに  
「ユニバーサル  
サービス料」  
としてご負担を  
いただいで  
おります

5億円を拠出

NTT東日本

NTT東日本の  
お客さま

5億円を拠出

NTT西日本

NTT西日本の  
お客さま

55億円を拠出

他の電話会社  
(携帯電話事業者など)

他の電話会社の  
お客さま

※事業者別の拠出額は、2019年1月末の電話番号利用数に基づく試算値です。

### 電話に関するお問い合わせ・お申し込み

「116」 携帯電話・PHSからは「0120-116000」 営業時間：午前9時から午後5時まで  
(年末年始を除きます)

ホームページ「Web116.jp」においても、NTT東日本の各種商品、サービスの注文受付や最新情報の提供を行っています。

<https://web116.jp/>

### NTT東日本に関するご意見・ご要望

お客さま相談センター 「0120-019000」 営業時間：午前9時から午後5時まで  
(土日・休日および年末年始を除きます)

NTT東日本のサービスの契約約款はこちらをご覧ください。

<https://www.ntt-east.co.jp/tariff/>

なお、郵送をご希望のお客さまは、「116」へお問い合わせください。